水稲苗播種作業



田舎館基幹グリーンセンターは4月8日か ら、水稲苗の播種作業を開始しました。

同地区では、春作業が忙しい生産者にとっ て播種作業の人材確保などが難しいことから、 約50年前からJAで播種作業を行い提供して います。今年は54件の申込があり、育苗箱で まっしぐら1万3,327枚、青天の霹靂3,630枚 を播種します。

播種後は30度に設定した育苗器の中で約 60時間加熱し、生産者へ配布しました。



水稲苗をトラックに積み込む職員



栽培について学ぶ部会員

黒石トマト部会栽培講習会



黒石トマト部会は3月8日、黒石市のグリー ンパレス松安閣で令和5年産の試験成績報告 会・令和6年産栽培暦説明会及びトマト栽培 講習会を開きました。

中南地域県民局地域農林水産部農業普及振 興室黒石分室の職員が講師を務め、9~10月 までの高温の中で安定して出荷量を確保した 優良事例について紹介しました。また、栽培 講習会では、国内最大手種苗メーカー「サカ タのタネ」の職員が講師を務め、令和6年産 のトマトの栽培に向けて説明。気温上昇と水 分管理に気を付け、温度上昇期の管理遅れは 避けるよう呼び掛けました。

指導力の強化図る講習会



JAでは、営農指導員の指導力強化を図る ため、指導員向けの栽培講習会を実施してい ます。

4月3日には黒石市の園地で剪定会を行い、 りんごを担当している営農指導員5人が参加。 剪定士の相馬司幸氏を講師に迎え、剪定の基 礎知識などを学びました。

営農課の三浦正幹営農課長は「指導力を強 化することで、生産者の所得向上につながる と思い実施した。今後も様々な指導員向けの 講習会を実施していきたい」と話しました。



剪定について学ぶ営農指導員